



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

※商品により、シリンダー形状、把手形状、オーナーキーの有無は異なる場合があります。

■梱包明細表

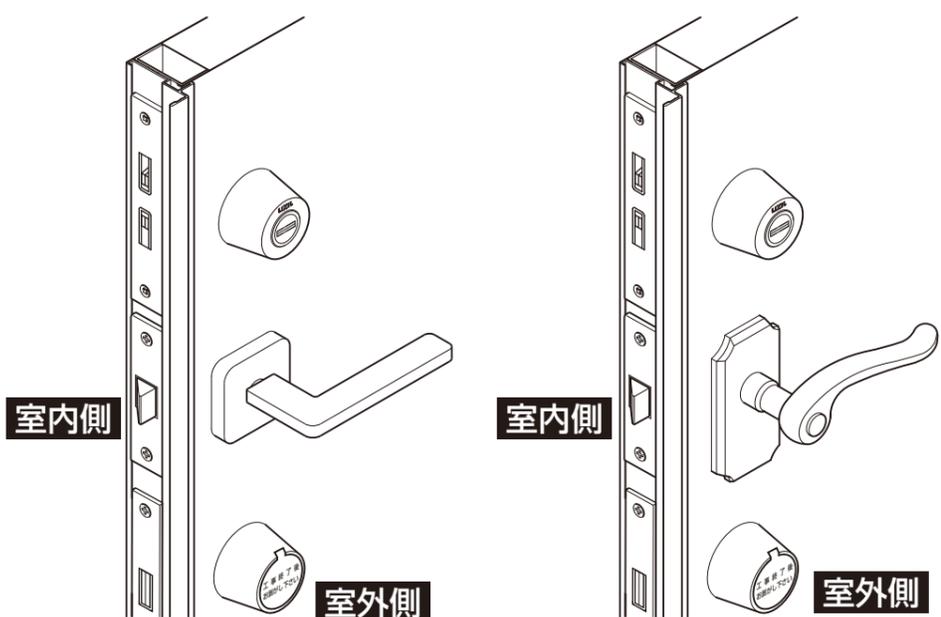
※取付け前に必ず梱包内容をご確認ください。

■把手セット

名称	入数	詳細
外側把手	1個	_____
内側把手	1個	_____
把手取付け部品	1セット	外側台座 / 1個、内側台座 / 1個、台座カバー / 2個、ナベ小ねじM4×12 / 2本、締付けねじ(いもねじ) / 1本
箱錠セット	1セット	箱錠 / 2個、ラッチ箱錠 / 1個、皿小ねじM4×16 / 6本(鋼板ドア用)、皿タッピンねじφ4×12 / 6本(アルミドア用)
シリンダーセット(別途手配)	1セット	シリンダー / 2個、オーナーキー / 1本、子鍵 / 4本、工専用キー(コンストラクションキー) / 3本
サムターン・セキュリティサムターンセット*1	1セット	サムターン / 1個、トラス小ねじM5×45 / 2本(頭部塗装付き)、セキュリティサムターン / 1個、サムターンキー / 2本、サムターン座 / 1個、トラス小ねじM5×45 / 2本(頭部塗装なし)
取付け説明書	1枚	_____
お施主さま用取扱い説明書	1冊	袋入り

*1 エントリーシステムの場合は、「サムターン・セキュリティサムターンセット」は梱包されません。別途手配品エントリーセットに電動サムターンが梱包されています。防火戸シリーズの場合、セキュリティサムターンセットが2セットになります。

■取付け完成図



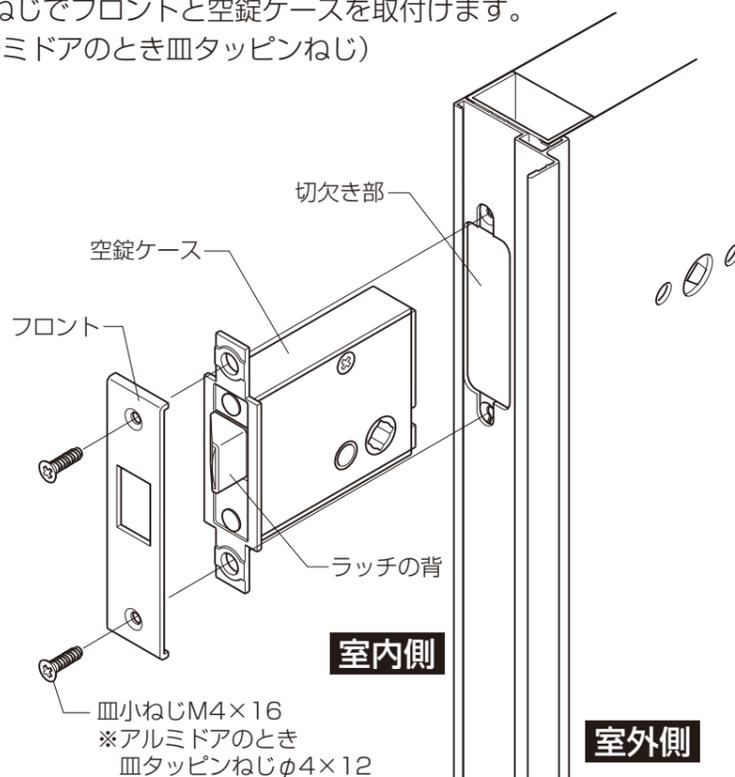
※把手のデザインは一例です。
他のデザインも取付け方は同様です。

※台座は長い方がドア本体下側です。

■取付け順序

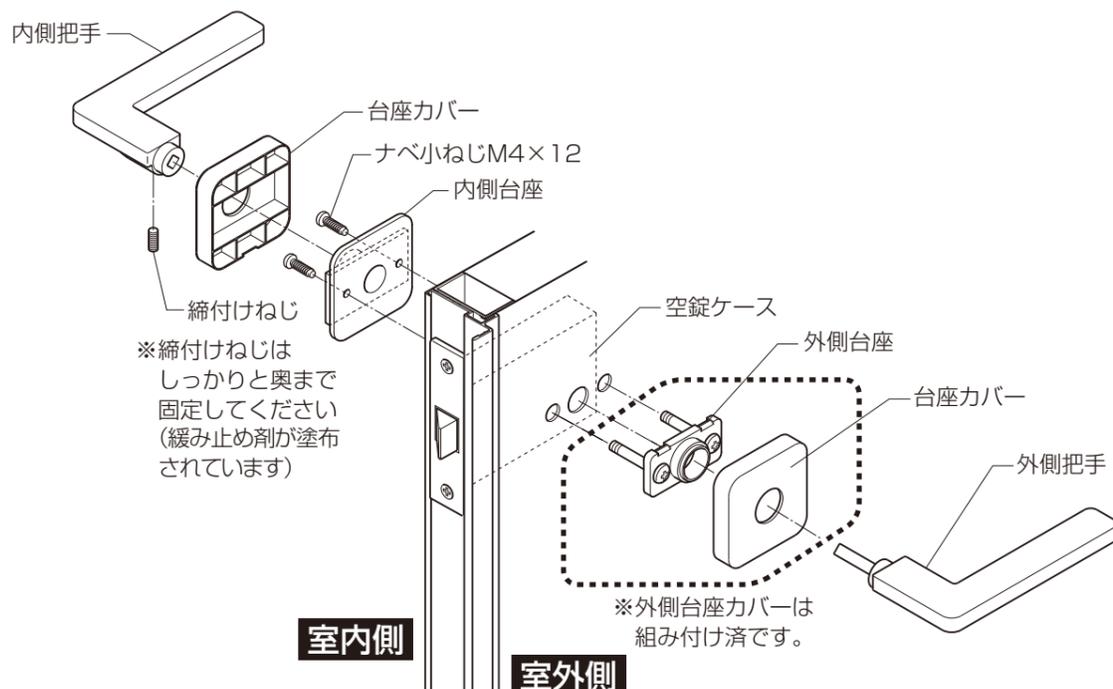
1 ラッチ箱錠の取付け

●ラッチの背を室外側に向け、空錠ケースを切欠きに合わせて挿入し、皿小ねじでフロントと空錠ケースを取付けます。
(アルミドアのとき皿タッピンねじ)

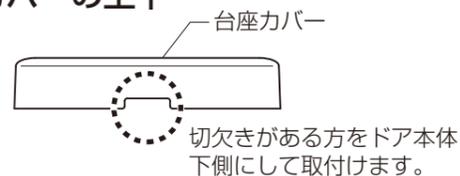


2 把手の取付け

- ①外側台座を室外側から差込みます。
- ②内側台座を、ナベ小ねじで外側台座に取付けます。
- ③台座の上から、上下の向きに注意して台座カバーを取付けます。
- ④把手を室内外から差込み、締付けねじで固定します。
※台座に傾きがないことを確かめてから締付けてください。

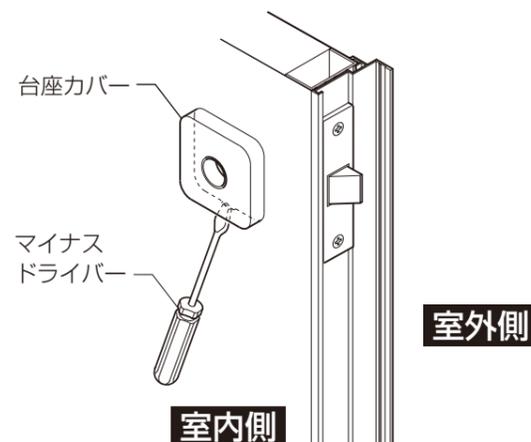


■台座カバーの上下



■台座カバーの外し方

台座カバーはツメではまっています。外しにくい場合は台座カバーの切欠きにマイナスドライバーを挿入しドア本体を傷つけないように取り外してください。



3 箱錠の取付け

① ドア上部の切欠き部に、ダブル鎌デッド箱錠を皿小ねじ(アルミドアのとき皿タッピンねじ)で取付けます。

※側面の矢印に従い、上下を確認して取付けてください。(下図「箱錠の取付け向き」参照)

※商品により、鎌箱錠を使用する場合があります。

② ドア下部の切欠き部に、鎌箱錠を皿小ねじ(アルミドアのとき皿タッピンねじ)で取付けます。

※鎌箱錠は「MIWAマーク」を上にして取付けてください。(下図「箱錠の取付け向き」参照)

4 上部シリンダー、サムターンの取付け

① リクシルマーク付きシリンダーのリクシルマークを上に向けます。
② リクシルマーク付きシリンダーの出っ張り(4カ所)を、ダブル鎌デッド箱錠(上部箱錠)の角穴に合わせて差込みます。

③ サムターンをトラス小ねじでリクシルマーク付きシリンダーに取付けます。

※防火戸シリーズの場合、上下共にセキュリティサムターンを取付けてください。(5参照)

5 下部シリンダー、サムターンの取付け

① 封印シール付きシリンダーの上面シールを上に向けます。

※上面シールがない場合は、シリンダーカバーの切欠きを下に向けてください。(下図「シリンダーの取付け向き」参照)

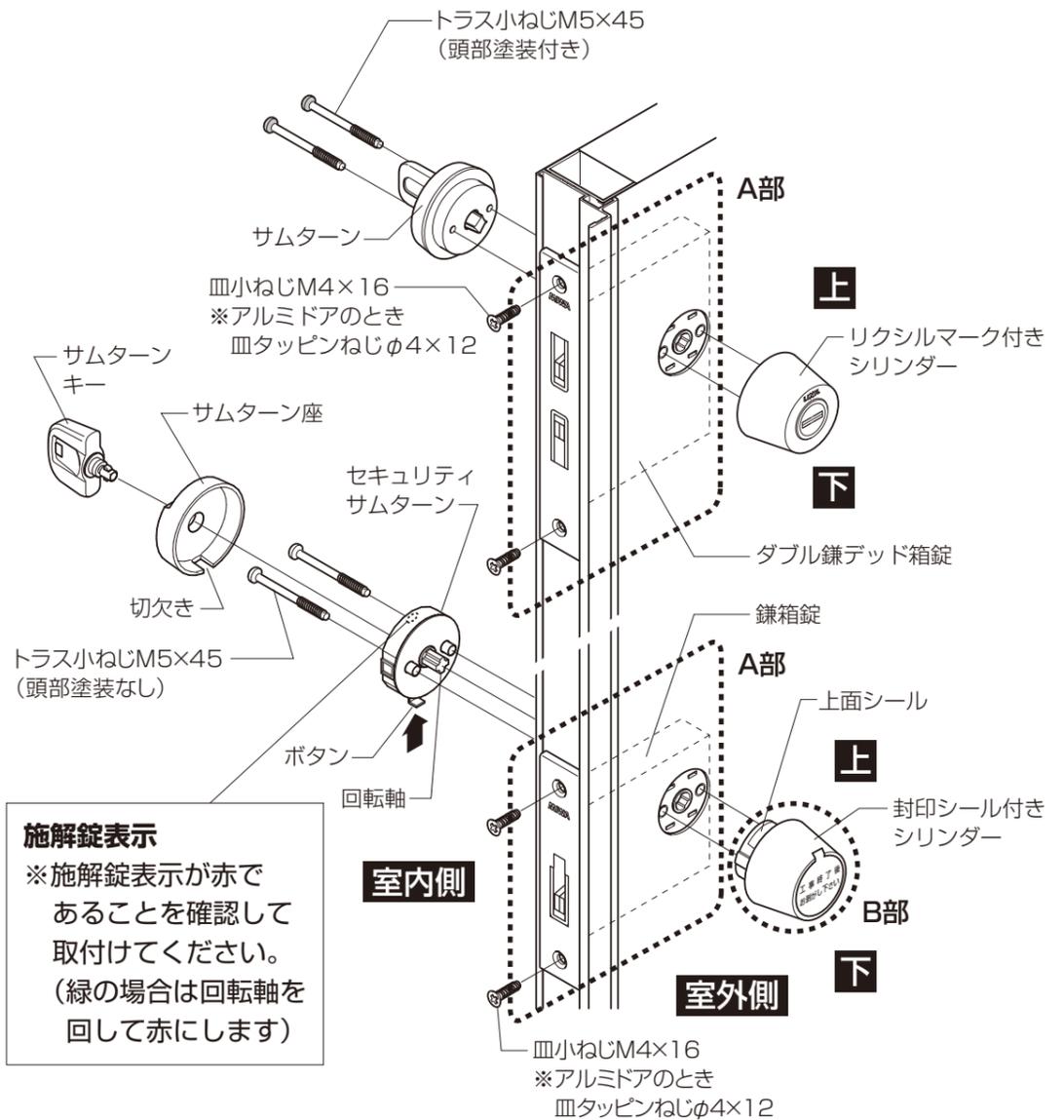
② 封印シール付きシリンダーの出っ張り(4カ所)を鎌箱錠(下部箱錠)の角穴に合わせて差込みます。

③ セキュリティサムターンのボタンを下に向け、トラス小ねじで封印シール付きシリンダーに取付けます。

④ サムターン座の切欠きを、セキュリティサムターンのボタンの向きに合わせてはめ込みます。

⑤ ボタンを上を押しながら、サムターンキーを差込みます。(ボタンが戻るとサムターンキーは抜けなくなります。)

※電動サムターンの取付け方法は、エントリーセットに同梱の取付け説明書をご参照ください。



施解錠表示
※施解錠表示が赤であることを確認して取付けてください。(緑の場合は回転軸を回して赤にします)

■箱錠の取付け向き(A部詳細図)
※MIWAマークの位置、または側面の矢印で上下を確認して取付けてください。

■シリンダーの取付け向き(B部詳細図)
※上面シールが張られていない場合は、シリンダーカバーの切欠きを下に向けて取付けてください。

■サムターンツマミの操作
※サムターンツマミは縦にして取付けてください。

※セキュリティサムターンは施解錠表示が、解錠時「赤」、施錠時「緑」になります。

【高防犯箱錠の場合】

■高防犯箱錠は、ドア下部の切欠き部に取付けます。

① 高防犯箱錠を皿小ねじ(アルミドアのとき皿タッピンねじ)で取付けます。

② 高防犯シリンダーの上面シールを上に向けます。

③ 高防犯シリンダーの出っ張り(2カ所)を高防犯箱錠の角穴に合わせて差込み、固定ピン(2本)で固定します。

④ セキュリティサムターンを高防犯箱錠の角穴に合わせて差込み、固定ピン(2本)で固定します。

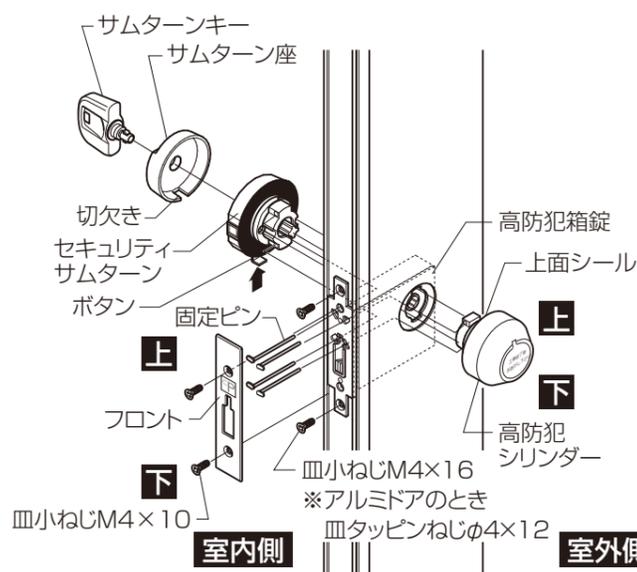
⑤ サムターン座の切欠きを、セキュリティサムターンのボタンの向きに合わせてはめ込みます。

⑥ ボタンを上を押しながら、サムターンキーを差込みます。(ボタンが戻るとサムターンキーは抜けなくなります。)

⑦ 高防犯箱錠に皿小ねじでフロントを取付けます。

※固定ピンは頭がケース上面と同じになるまで差込んでください。

※固定ピンをスムーズに挿入できない場合は、ハンマー等で軽くたたき込んでください。その際、サッシ等を傷つけないように注意してください。



■高防犯シリンダー側面図

■セキュリティサムターン側面図

■コンストラクション装置について

● 封印シールが張られていないシリンダーには、コンストラクション装置が組み込まれています。施工の際は、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後、お施主さま専用キーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以後はお施主さま専用キーでなければ開閉できません。

● 封印シールが張られているシリンダーには、コンストラクション装置が組み込まれていません。

